

定理 平行四辺形になる条件

- ① ( )
- ② ( )
- ③ ( )
- ④ ( )
- ⑤ ( )

この定理から平行四辺形になることを三角形の合同や角度の性質を利用して証明する。

問1 四角形 ABCD が平行四辺形になるのは、次のア～エのどの場合か、すべて答えなさい。

また、その時の理由も平行四辺形になるための条件から答えなさい。

- ア.  $AB=3\text{ cm}$ 、 $BC=5\text{ cm}$ 、 $CD=5\text{ cm}$ 、 $DA=3\text{ cm}$
- イ.  $\angle A=130^\circ$ 、 $\angle B=50^\circ$ 、 $\angle C=130^\circ$ 、 $\angle D=50^\circ$
- ウ.  $AB//DC$ 、 $AD=3\text{ cm}$ 、 $BC=3\text{ cm}$
- エ.  $OA=5\text{ cm}$ 、 $OB=4\text{ cm}$ 、 $OC=5\text{ cm}$ 、 $OD=4\text{ cm}$

---



---



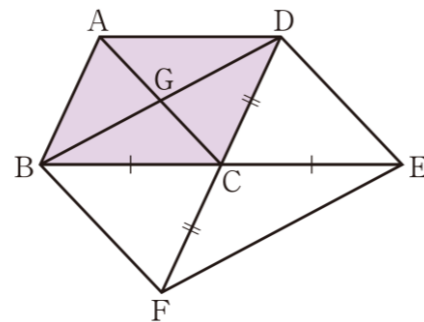
---

問2  $\square ABCD$  の辺  $BC, DC$  の延長線上に  $BC=CE$ 、 $DC=CF$  となる点  $E, F$  を下の図のようにとる。 $\square ABCD$  の対角線の交点を  $G$  とするとき、次の問に答えなさい。

- (1) 図の中で平行四辺形といえる四角形をすべて見つけなさい。
- (2) (1)で見つけたいずれかの四角形について平行四辺形であることを証明しなさい。

(1)

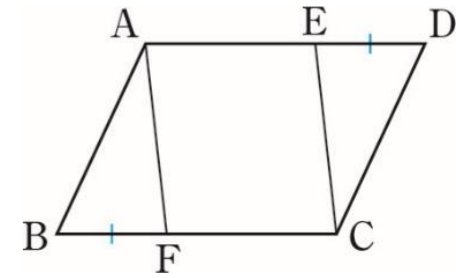
(2) 四角形 ( )



問3  $\square ABCD$  の辺  $AD, BC$  上に、それぞれ点  $E, F$  を  $DE=BF$  となるようにとる。このとき、四角形  $AFCE$  は平行四辺形であることを証明しなさい。

$\square ABCD$  において

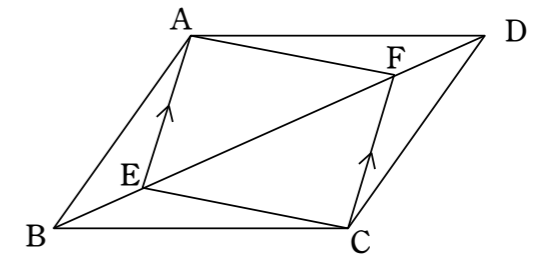
- $AE//$  ( ) (仮定)  $\dots$  ①
- $AD=$  ( ) (平行四辺形の対辺)  $\dots$  ②
- $DE=$  ( ) (仮定)  $\dots$  ③
- $AE=$  ( )  $-$  ( )  $\dots$  ④
- $FC=$  ( )  $-$  ( )  $\dots$  ⑤



- ②、③、④、⑤より
- ( )  $=$  ( )  $\dots$  ⑥

①、⑥より ( ) から  
四角形  $AFCE$  は平行四辺形である。

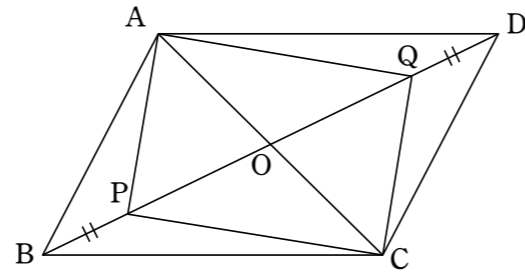
問4  $\square ABCD$  の対角線  $BD$  上に点  $E, F$  を  $AE//CF$  となるようにそれぞれとるとき、四角形  $AECF$  は平行四辺形であることを証明しなさい。



今日の振り返り、または疑問点を書きましょう。

強化問題

1. 下の図のように、 $\square ABCD$  の対角線  $BD$  上に  $BP=DQ$  となる 2 点  $P, Q$  をとる。  
 対角線  $AC, BD$  の交点を  $O$  とするとき、四角形  $APCQ$  は平行四辺形であることを  
 証明した。証明の穴埋めをなさい。



四角形  $APCQ$  において

$$AO=CO \text{ (平行四辺形の対角線の交点)} \dots \textcircled{1}$$

$$= \text{ (平行四辺形の対角線の交点)} \dots \textcircled{2}$$

$$= \text{ (仮定)} \dots \textcircled{3}$$

$$PO= \quad - \quad \dots \textcircled{4}$$

$$QO= \quad - \quad \dots \textcircled{5}$$

$$\textcircled{2}, \textcircled{3}, \textcircled{4}, \textcircled{5} \text{より}$$

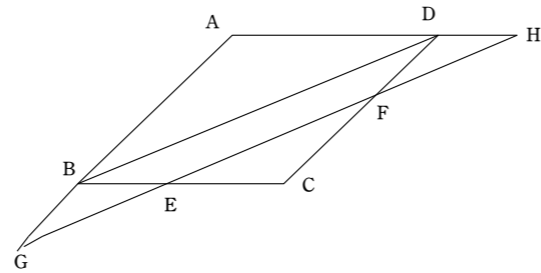
$$= \quad \dots \textcircled{6}$$

$$\textcircled{1}, \textcircled{6} \text{より}$$

から

四角形  $APCQ$  は平行四辺形である。

2.  $\square ABCD$  において、右の図のように、対角線  $BD$  に平行な直線をひき、辺  $BC, CD$  との交点をそれぞれ  $E, F$  とし、辺  $AB, AD$  の延長との交点をそれぞれ  $G, H$  とする。  
 このとき  $GE=EH$  であることを証明しなさい。



答 1.  $BO, DO, BP, DQ, BO, BP, DO, QO, PO, QO$ 、対角線がそれぞれの中点で交わる

2.  $\triangle BGE$  と  $\triangle DFH$  において

$$BG // DF \text{ (仮定)} \dots \textcircled{1}$$

$$BD // GF \text{ (仮定)} \dots \textcircled{2}$$

$\textcircled{1}, \textcircled{2}$ より 2 組の対辺がそれぞれ平行だから  
 四角形  $BGFD$  は平行四辺形  
 よって  $BG=DF$  (平行四辺形  $BGFD$  の対辺)  $\dots \textcircled{3}$   
 同様にして四角形  $BEHD$  も平行四辺形なので  
 $BE=DH$  (平行四辺形  $BEHD$  の対辺)  $\dots \textcircled{4}$   
 $\angle GBE = \angle BAD$  ( $AD // BC$  の同位角)  $\dots \textcircled{5}$   
 $\angle FDH = \angle BAD$  ( $AB // DC$  の同位角)  $\dots \textcircled{6}$   
 $\textcircled{5}, \textcircled{6}$ より  $\angle GBE = \angle FDH$   $\dots \textcircled{7}$   
 $\textcircled{3}, \textcircled{4}, \textcircled{7}$ より、  
 2 組の辺とその間の角がそれぞれ等しいから  
 $\triangle BGE \cong \triangle DFH$   
 合同な図形の対応する辺は等しいから  
 $GE=EH$